

公益社団法人空気調和・衛生工学会 東北支部 第 7 回学術・技術報告会

講演者への伝達事項

空気調和・衛生工学会東北支部 学術・技術報告会での講演者は、下記の事項に留意ください。

1. 会場の東北文化学園大学は、キャンパス内全面禁煙です。喫煙所もありませんので、予めご了承ください。
2. 会場の東北文化学園大学には、講演者や参加者用の駐車場を準備しておりませんので、公共交通機関等で来場ください。
〔JR利用の場合〕
JR 仙山線で「国見駅」で下車ください。駅から、徒歩 1 分です。なお、国見駅は、快速電車の停車駅です。
〔仙台市営バス利用の場合〕
仙台駅西口のバスターミナル 15 番乗り場で、「南吉成・国見ヶ丘 1 丁目」行きか、「南吉成・中山台・実沢（営）」行きに乗車して、「国見浄水場・東北文化学園大前」で下車してください。所要時間は約 30 分です。
3. 原稿を提出する際はホームページに掲載されているプログラムを確認の上、各自割り振られた番号と名前を必ず入れて平成 30 年 2 月 14 日(水)17:00 必着、PDF で学術・技術報告会実行委員会 E-mail tohoku.shase@gmail.com へご提出ください（例：プログラム A-4 で空衛花子さんの場合“A-4 空衛花子”）。なお、論文集はホームページ上に掲載する PDF 版はカラーですが、印刷版は白黒となります。
4. 論文集（予稿集・梗概集）は、PDF ファイルにて空気調和・衛生工学会東北支部のホームページに掲載します。必要な方は、ファイルをダウンロードしてください（掲載予定期間：3 月 5 日～3 月 14 日）。
5. ホームページに掲載した内容と同様の論文集を学術・技術報告会当日に販売します（白黒印刷）。確実に入手したい場合は、2 月 23 日（金）までに下記の E メールアドレスに予約してください。予約外での当日販売も行いますが、限りがありますので売り切れの際はご了承ください。論文集の販売価格は、3,000 円（税込み）です。
論文集予約申込 E-mail tohoku.shase@gmail.com 担当：柴田
6. 講演者は、会場に到着後、速やかに 5 号館 3 階に設置する受付で、来場した旨の報告をしてください。受付は、少なくとも発表の 30 分前までに行ってください。来場の報告を怠ると、講演ができない場合があります。
7. 講演者が都合により講演できない場合は、連名者が代理で講演できます。事前に、受付と司会者に申し出て、了承を受けてください。司会者には、セッションの始まる前の休憩時間帯にお願いします。代理者による講演の場合、後述する学術・技術報告会優秀発表奨励賞の対象から外れますので、ご了承ください。
8. 欠席等により講演の取り止めがあった場合は、セッション内で時間を繰り上げて進行します。ただし、つぎのセッション以降の開始時刻の変更はありません。
9. 液晶プロジェクタを準備します。各自パソコンと発表データをご持参下さい。当該セッションの

前に切替器に接続してください。接続はシリアル端子のみです。Macの方、HDMI端子のみの方はアダプタをご準備ください。

10. ポスター発表の講演者は、8時20分から8時40分までの間に、ポスターを掲示してください。画鋏等のご自身で用意ください。撤収は、16時00分～16時30分の間に行ってください。それまでにポスターを撤収しない場合は、事務局で廃棄致します。
11. ポスター発表のポスター掲示スペースは、1テーマ毎に約1,800mm（幅）×約1,800mm（高さ）となっております。ポスターの大きさと枚数は、このスペース内であれば自由に設定して構いません。ただし、奥行きが200mmを超える立体的なポスターや1.0kgを超える重さの掲示は禁止します。
12. 口頭発表の持ち時間は、発表が9分間、質疑応答や意見、アドバイス等の討論と講演者の交代、準備を合わせて3分間の計12分間です。つぎの経過時間に、鈴で合図をします。

1 鈴	6 分後
2 鈴	9 分後（発表終了）
3 鈴	12 分後（持ち時間終了）
13. 口頭発表で、連報の場合は、原則として途中に討論を入れずに、続けて発表を行って下さい。連報の発表終了後に、まとめて討論を行います。この場合でも、持ち時間の合計は、変わりません。連報が、複数のセッションにまたがる場合は、セッションごとに、発表と討論をまとめて行います。連報であっても、1報ずつ発表と討論を行いたい場合は、セッションが始まる前の休憩時間帯に、司会者と打合せしてください。
14. ポスター発表には、コアタイムを設けております。ポスター発表者は、コアタイムの時間帯は必ずポスターの近くに待機して、発表や質疑応答等を含めたプレゼンテーションを行ってください。コアタイム以外にも休憩時間帯を中心に、プレゼンテーションを行ってください。
15. 優秀な若手講演者（おおむね30歳代まで）に対して、「学術・技術報告会優秀発表奨励賞」の表彰をします。受賞者の発表と表彰は、当日の閉会行事の中で行います。ただし、特別セッションとオーガナイズドセッションの講演は、優秀発表奨励賞の対象となりません。

以上